

事務事業評価資料

施策名	商業集積の形成・高度化と商店街の活性化		所管部局課名	産業労働部産業振興局経営商業課						
事業名	商店街活性化事業		担当者電話番号	商業活性化係 078-362-3326						
事業目的	商店街等の取り組み等に支援することにより、商店街のにぎわい創出、魅力づくり、地域コミュニティ機能向上を一体的に促進する。									
事業内容	(1)先導的活性化事業 補助対象者：商店街・小売市場等、補助対象経費：まちづくりの観点から実施する先導的な取り組み、補助率：1/2 (2)元気商店街創出事業 委託先：商工会・商工会議所、対象事業：商圈特性や地域資源の調査・分析、将来戦略の策定等、委託額：900千円(限度額) (3)元気づくり事業 補助対象者：商店街・小売市場、補助対象経費：地域と一体となったイベント、補助率：1/4(市町1/4)			事業開始年度	平成18年度					
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額				
	事業費	(82,764千円) 82,764千円		(69,000千円) 69,000千円		(46,412千円) 46,412千円				
	人件費	2,674千円	従事人員 0.3人	2,541千円	従事人員 0.3人	2,508千円 0.3人				
	総コスト(+)	85,438千円	従事人員 0.3人	71,541千円	従事人員 0.3人	48,920千円 0.3人				
事業の目標	商店街のにぎわい創出、魅力づくり、地域コミュニティ機能の向上			[目標設定理由] ・商店街のにぎわい創出、魅力づくり、地域コミュニティ機能の向上促進 ・このためのイベント実施を目標とした ・県下商店街のうちイベント開催商店街割合が60%のため最終目標としている						
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)			
		目標値	年度				H19	H20	H21	
	全商店街中イベント実施支援商店街の累計(%)	60	24年度	-	12.5 (単年度12.5)	24.5 (単年度12.0)	-	21%	41%	
評価結果	必要性	・商店街等における活性化が進まない状況のなか、商店街単独での取り組みでは限界がある。 ・このため、地域振興を図るうえでも行政が関与し、商店街のにぎわい創出・魅力づくり・地域コミュニティ向上の機会づくりを行う。								
	有効性	・イベント支援については、H19年度で県下商店街における需要がほぼ一巡したことから、H20年度で補助率等の見直しを行った。 ・このため、指標達成率は今後改めて判断する必要があるが、H20年度で目標値の1/5が達成されていることから、商店街等の活性化に有効と考える。								
	効率性	・イベント支援については、H19年度で県下商店街における需要がほぼ一巡したことから、H20年度で補助率等の見直しを行った。 ・このため、指標1単位あたりのコストは今後の推移を判断する必要があるが、補助対象上限を設定することにより、効率的な事業実施を行うようにしている。								
	民間・市町との役割分担	・元気づくり事業(イベント支援)は、市町負担を求めるとともに、市町が当該実施団体への助言・指導を行っている。 ・先導的活性化事業は各地域への波及を目的として先導的に行うことから、県で実施する。								
	受益と負担の適正化	・事業を実施する商店街等へは事業費の1/2の負担を求めている。 ・元気づくり事業は市町の1/4負担を求めており、受益者に適正な負担を求めている。								
実施方針	方向性	新規	拡充	継続		実施手法の見直し				
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定			
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
説明	にぎわい創出、魅力づくり、地域コミュニティ機能向上を促進し、商店街等の活性化を図るため継続して実施する。									